

## 令和2年度学校法人鉄蕉館決算報告について

令和3年5月24日

学校法人鉄蕉館 財務統括部

### ◆令和2年度決算の主な概要

#### 1. 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書）

※資金の顛末を表すもの、次の事業活動収支計算書にも数値は連動している

##### 【法人全体】

収入及び支出は22億1,751万円となった。

予算対比△1,579万円

収入においては補助金、学納金前受金収入（大学△1,451万円、専門学校は+809万円）が予算未達となったが、寄付金収入においては予算額より+1,008万円となった。尚、当初予算値と比較すると+9,908万円の増額となった。

支出においては人件費等の経常的経費において費用の抑制化が図ることができ、おおよそ予算内の執行となった

※予算比：人件費△2,179万円、教育研究経費△1,483万円、管理経費△768万円

##### 《前年度対比+1億7,156万円》

##### ☆主な要因

・学納金収入の増加 +5,513万円

→大学前年度比+1,444万円（学部+646万円、大学院+798万円）、専門学校前年度対比+4,069万円（助産+468万円、看護+2,694万円、介護福祉+672万円（新設）、日本語+235万円）

・寄付金収入の増加 +8,833万円

##### 【亀田医療大学】

収入及び支出は15億3,675万円となった。

予算対比△2,049万円

収入においては補助金（△1,281万円）、学納金前受金（△1,451万円）が未達となった  
支出においては人件費等のおおよその経常的経費において予算内での抑制化が図れた

※予算比：人件費△1,131万円、教育研究経費△755万円、管理経費△144万円

《前年度対比+1億1,676万円》

☆主な要因

- ・学納金収入の増加 前年度比+1,444万円（学部+646万円、大学院+798万円）
- ・寄付金収入の増加 +4,112万円
- ・繰越支払資金の増加によるもの +5,428万円

【亀田医療技術専門学校】

収入及び支出は5億9,346万円となった。

予算対比+4,019万円

収入においては学納金前受金が予算比+809万円となりその他の経常的収入においてもほぼ予算額の水準となった

支出においては人件費等のおおよその経常的経費において予算内執行にて費用の抑制化が図ることができた

※予算比：人件費△992万円、教育研究経費△727万円、管理経費△561万円

《前年度対比+4,634万円》

☆主な要因

- ・学納金収入の増加 前年度対比+4,069万円（助産+468万円、看護+2,694万円、介護福祉+672万円（新設）、日本語+235万円）
- ・寄付金収入の増加 +4,294万円
- ・繰越支払資金の増加によるもの +5,428万円

2. 事業活動収支計算書 ※企業に例える損益計算書

【法人全体】

事業活動収入は13億1,928万円となった。

予算対比△924万円

主な理由は学納金、入学検定料等の手数料収入、補助金収入の未達等によるもの

《前年度対比+1億3,995万円》

☆主な要因

前述の資金収支の通り、学納金、寄付金等の教育活動収入の増収によるもの

事業活動支出は12億1,340万円となった。

予算対比△4,859万円

理由は資金収支の通り人件費等のおおよその経常的経費において費用の抑制化によるもの

《前年度対比+6,708万円》

☆主な要因

理由としては学校法人鉄蕉館奨学金制度2年目による徴収不能引当金の組入増、人件費等の経常的経費の増額によるものである

その結果、当年度収支差額は△3,644万円となった。

前年度対比+1億1,343万円と好転したが前年度同様、赤字となった。

【亀田医療大学】

事業活動収入は8億3,531万円となった。

予算対比△1,107万円

主な理由は学納金、入学検定料等の手数料収入、補助金収入の未達等によるもの

《前年度対比+4,503万円》

☆主な要因

前述の資金収支の通り、学納金、寄付金等の教育活動収入の増収によるもの

事業活動支出は8億2,245万円となった。

予算対比△20,529万円

理由は資金収支の通り人件費等のおおよその経常的経費において費用の抑制化によるもの

《前年度対比+3,999万円》

☆主な要因

前述同様、学校法人鉄蕉館奨学金制度による徴収不能引当金の組入増、人件費等の経常的経費の増額によるものである

当年度収支差額は△7,710万円となった。

前年度対比+931万円と好転したが前年度同様、赤字となった。

【亀田医療技術専門学校】

事業活動収入は4億1,844万円となった。

予算対比+140万円

《前年度対比+9,083万円》

☆主な要因

・学納金収入の増加 前年度対比+4,069万円（助産+468万円、看護+2,694万円、介護福

祉+672万円（新設）、日本語+235万円）

・寄付金収入の増加 +4,294万円

事業活動支出は3億6,583万円となった。

予算対比△2,588万円

人件費等のおおよその経常的経費において予算内執行にて費用の抑制化が図れることができた

※予算比：人件費△992万円、教育研究経費△727万円、管理経費△561万円

《前年度対比+3,357万円》

☆主な要因

人件費等の経常的経費の増額によるものである

当年度収支差額は△1,119万円となった。

前年度対比+6,237万円となった好転したが前年度同様、赤字となった。

### 3. 貸借対照表（令和3年3月31日時点）

#### 【法人全体】

総資産は42億3,981万円となった。

前年度対比プラス14万円

※奨学金の徴収不能引当金を前年度比に対し5,486万円組入れており、現金預金、特定資産は増額していることに際し相殺されている状況

総負債は10億3,295万円となった。

前年度対比△1億573万円

減少理由の大部分は年度末に千葉興業銀行長期借入金の一部償還を行ったこと、前受金の減少によるものである。

純資産は32億686万円となった。

前年度対比プラス1億587万円

主な理由としては資産取得による第1号基本金、第3号基本金（亀田医療大学学生支援基金）及び第4号基本金の増加によるものである。

**【亀田医療大学】**

総資産は 30 億 5,374 万円となった。

奨学金の徴収不能引当金の増額、減価償却費による資産簿価の減少等により前年度対比△4,948 万円

総負債は 5 億 6,976 万円となった。

前年度対比△6,249 万円

減少の理由として前述同様千葉興業銀行長期借入金の一部償還を行ったこと、前受金の減少によるものである。

純資産は 24 億 8,485 万円となった。

前年度対比プラス 1,285 万円

主な理由としては資産取得による第 1 号基本金増加によるもの

**【亀田医療技術専門学校】**

総資産は 10 億 9,416 万円となった。

減価償却引当特定資産等の増加による前年度対比プラス 3,812 万円

総負債は 4 億 6,201 万円となった。

前年度対比△4,147 万円

減少の主な理由として前述同様千葉興業銀行長期借入金の一部償還を行ったこと、未払金、前受金の減少によるものである。

純資産は 6 億 2,676 万円となった。

前年度対比プラス 7,370 万円

主な理由としては資産取得による第 1 号基本金増加及び第 4 号基本金の増加によるもの

以上